

【3学期は1年間のまとめの学期です。何かをしよう、そして足跡を残そう！】

1. 3学期は計画的に進めないとあっという間に過ぎていく

- ・最後の日（卒業式、修了式）を意識し、逆算して計画を立てる。
- ・子どもたちも「有終の美」を望んでいる。その気持ちを生かしていく。
- ・カウントダウンのカレンダー。みんなで感動のフィナーレを。

2. 3学期の足跡 例1。 ～学級通信や文集のまとめ方～

- ・自分の足跡、クラスの足跡が残るのはとてもいいこと。思い出の貯金通帳をつくる。
- ・学級通信も文集もきちんとした形でまとめる。きちんと製本すれば、ずっと置いておきたくなる（手作りでも十分）。ファイルにまとめたものは、いつかは捨てられる。
- ・3学期からでも始めることができる。毎日の日記を文集にまとめる。

3. 3学期の足跡 例2。 ～50日日記のすすめ～

- ・一年を通しての日記はしんどくても3学期だけの50日なら子どもも先生もがんばれる。子どもと交換日記。1冊で交互に書けば25日だけになる。
- ・小さなノートで書くと書きやすいし、持ち運びしやすい。

4. 3学期の足跡 例3。 ～最後の懇談会は感動の時間にしたい～

- ・最後の懇談会は特別バージョン。保護者も「あーよかったな」と思える懇談会を計画。
- ・1年を振り返るものを用意すると感動がある（ビデオ、作文、お話等、感動秘話を）
- ・多くの保護者に参加してもらうためには、広報が大事。何もしないのはダメ。
- ・参加の保護者には、その子のいい所を担当から話していく。

5. 3学期の足跡 例4。 ～卒業論文発表会～

- ・きちんと発表会を計画し、きちんと発表させる。机、マイク、演題も書く。
- ・発表会では、3分以内にきちんと話すように練習を何度もする。緊張も大事！
- ・人前で堂々と発表出来た という自信をもたせて卒業させたい。

6. 3学期の足跡 例5。 ～みんなでマラソン世界記録を～

- ・42.195kmを駅伝形式でみんなでたすきリレーで世界新記録をねらって走る
- ・運動場を〇〇〇周で42.195km。それには一人〇mずつ〇回走る。
- ・意外としんどい、なかなか破れない世界記録。でも心に残るチャレンジになる。
- ・世界記録は？日本記録は？高橋尚子の記録は？ 比べながら走ると意欲が湧く

7. 3学期の足跡 例6。 ～「一人ひとりへの卒業証書」我がクラスの卒業式～

- ・一人ひとりに、担任のコメントを書いた〇年〇組の卒業証書を渡す。
- ・最後の言葉をどうするかしっかり考える。心に残る担任の言葉。担任の歌。